

mermaid hound  
kaiso ikken chou

第六談

人魚狩り

R18  
成人向



+ + + + +

怪鼠一見帳

人魚狩り

登場人物  
紹介

【普段の格好】

存在感が薄くて「幽霊みたい」と言われるのが嫌で、ある程度身体を大きく見せられる和服かつ黒っぽいものをよく身につける。



【シャツ】

少し大きい。十字のはボタン。



【ハイソックス】

細かいリブ。



【外套】

なにかの記念品で与えられたもの。大きく、肌触りも良くて暖かい。フチはリブになっている。

【ブーツ】

海軍のおさがり。ちょっと大きい。



【髪】

癖っ毛ではなく、ざっくばらんハネ毛。基本重力に従ってる。色は桜鼠色で、紫外線が強いところだと白っぽく、暗いところと湿気のあるところだと黒っぽく見える。



【義眼】

眼帯を外した時、オッドアイだとめちゃうか恥ずかしいのでものすごい高いお金を払って片方の目とまるっきり見た目のものを作ってもらった。眼帯は「こっち義眼なんだっけ」と見られるのが嫌でつけている。



【ピアス穴】

左耳：ヘリックス2箇所、インダストリアル1箇所、アンチトラガス1箇所。  
右耳：耳たぶに1箇所。



【万年筆】

書きごごちが良く、これじゃないと何も書きたくないと思うぐらいに愛用している。インクが切れてもインクを補充するのをめんどくさがるので無理やり書こうとするのでペン先が潰れてる。

一寸見葉

ちとみ・よういち

- |  |     |               |
|--|-----|---------------|
| ・魔法が使えなくなってしまった魔法使い。                                   | 人種  | 魔法使い          |
| ・どういうわけか、『どんな大きな怪我でも2日で治る』魔法が使えるうちは不老不死という効果だけ継続できている。 | 国籍  | 秋津皇国          |
| ・いつも眠そうな顔をしているが、実際いつも眠い。                               | 所属  | 秋津皇国海軍(1927年) |
| ・ボソボソ喋る。   | 身長  | 152cm         |
| ・黙っていると「冷たい」と勘違いされ、喋ると「黙ってれば可愛いのに」と言われる。               | 年齢  | 22歳(1937年)    |
| ・人の面倒を見るのと、いたずらが好きだがかなりのマイペースなので、飽きたら途中でもどこかへ行ってしまう。   | 誕生日 | 1915年6月21日    |
| ・カストリ雑誌に連載している。  |     |               |
| ・昼寝が好き。  |     |               |
| ・説教と爬虫類が苦手。  |     |               |



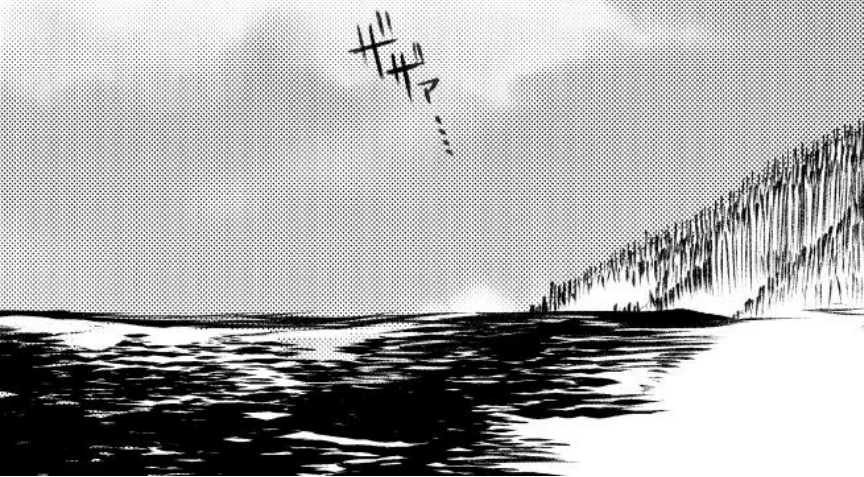
きっかけは  
幼い頃  
母に人魚姫の絵本を  
読み聞かせて  
もらったことから  
だった



まだ幼かった僕は  
「自分だったら  
人魚を幸せにして  
あげられるのに」  
と人魚に恋い焦がれた



陸の王子に  
恋をした人魚姫が  
恋を成就することが  
出来ず泡となって  
消えてしまう  
という話だった

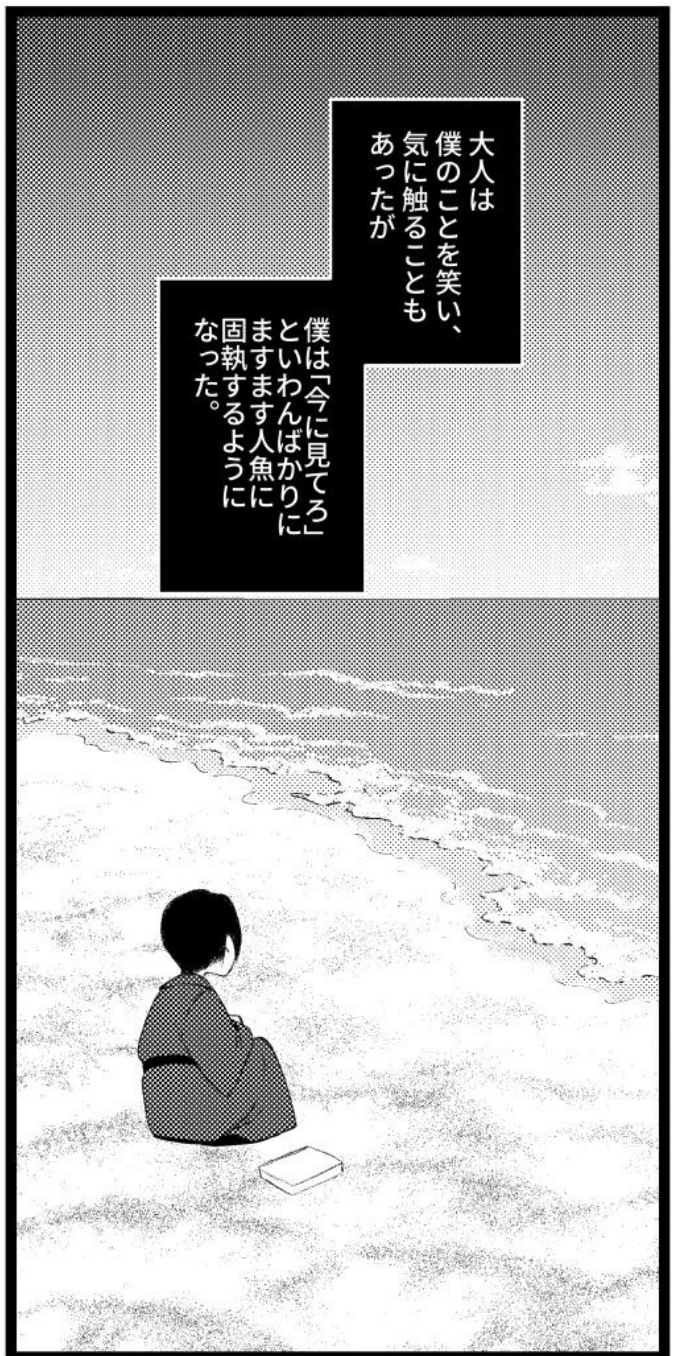


港町に住んでいた  
僕はそれ以来、  
海に通いつめるよう  
になった。



大人は  
僕のことを笑い、  
気に触ることも  
あつたが

僕は「今に見てろ」  
といわんばかりに  
ますます人魚に  
固執するようにな  
つた。



人魚…  
会いたいな…



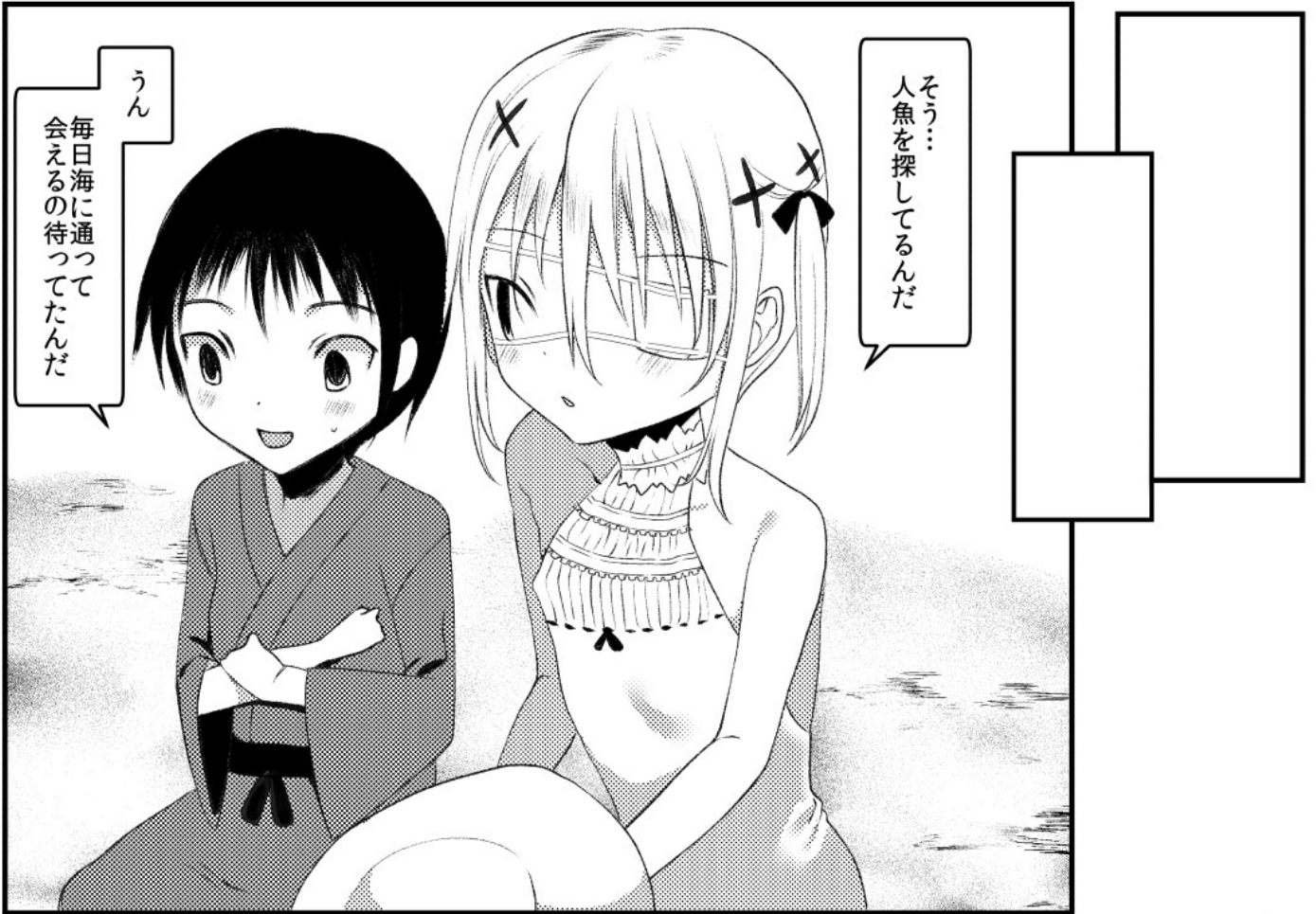


水に濡れて  
鱗のよう  
きらめく  
海のように  
青い目

秋津人、いや  
人間離れした  
容姿に僕は…

なあに  
人の顔に  
じろじろ見て

に？  
に…







海にやたら  
近づいちゃ  
大人から教  
わったけど…

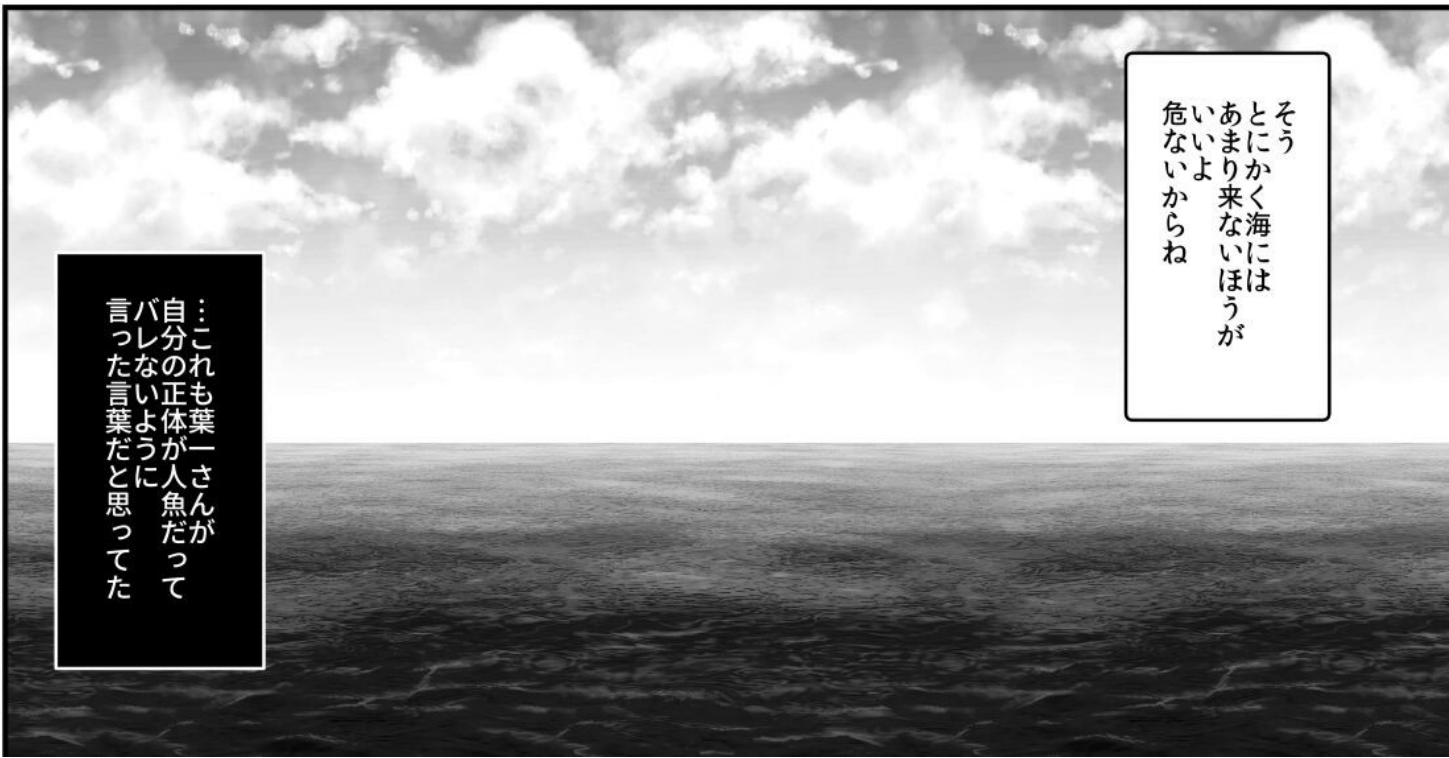
沖のほうに  
行っちゃい  
けないのは  
まればとが  
みがあるか  
ら  
って学校で  
教わらなかつた？



この海を支配して  
る  
人類共通の敵…



ニ



そう  
とにかく海には  
うが  
あまり来ない  
ほうがいいよ  
危ないからね

…これも葉一さんが  
自分の正体が人魚だ  
って  
バレないように  
言った言葉だと思  
ってた



ん？



どうすれば葉一さんを人魚だと認めざるを得ない状況に追い込めるかな…



これだ



人魚を探しに行きたい？



「人魚は脚が生えていても濡れると元に戻る」という文献を参考にしたりもりだった

それならいいけど…



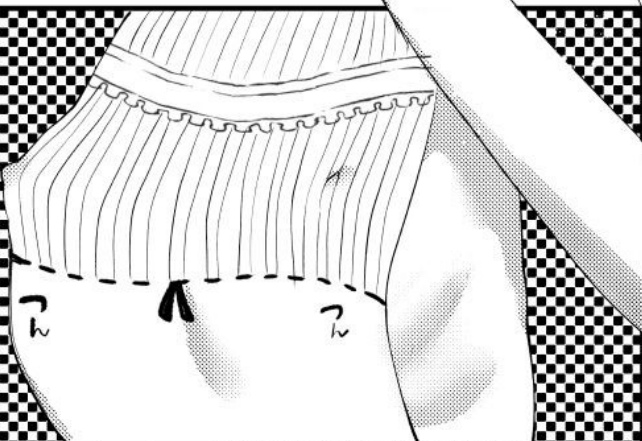
沖まで行かないからさ一緒に行かない？

ここからへんに目撃情報があったんだってさ

どうしたの  
はやく  
着替えなよ

うあつ…

アキ



葉一さん…  
やっぱり綺麗だ



見てるだけで  
こころ…こころ…

ゴクッ





しし  
しよ  
なう  
あが  
…

ほり  
…  
じ  
…  
し  
…

あ  
…  
わ  
あ  
!?

大  
丈  
夫  
…  
か  
を  
抜  
い  
て  
…

で  
い  
や  
…  
お  
…  
っ

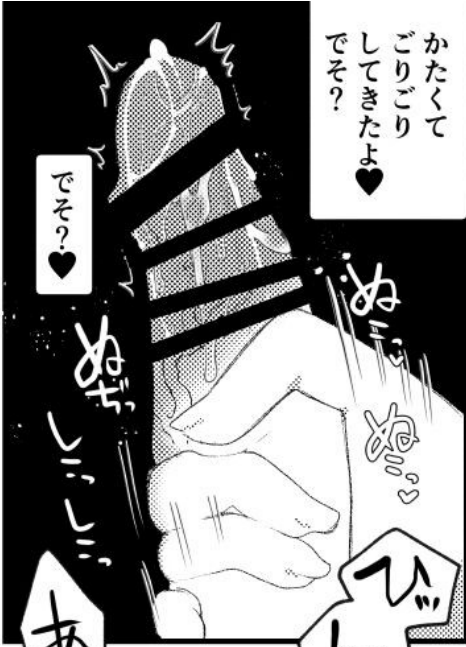
ほ  
り  
…

あ  
…  
あ  
…  
あ  
…  
あ  
…

あ  
…  
あ  
…







かたくて  
ごりごり  
してきたよ♡  
でそ？

ひんっ♡

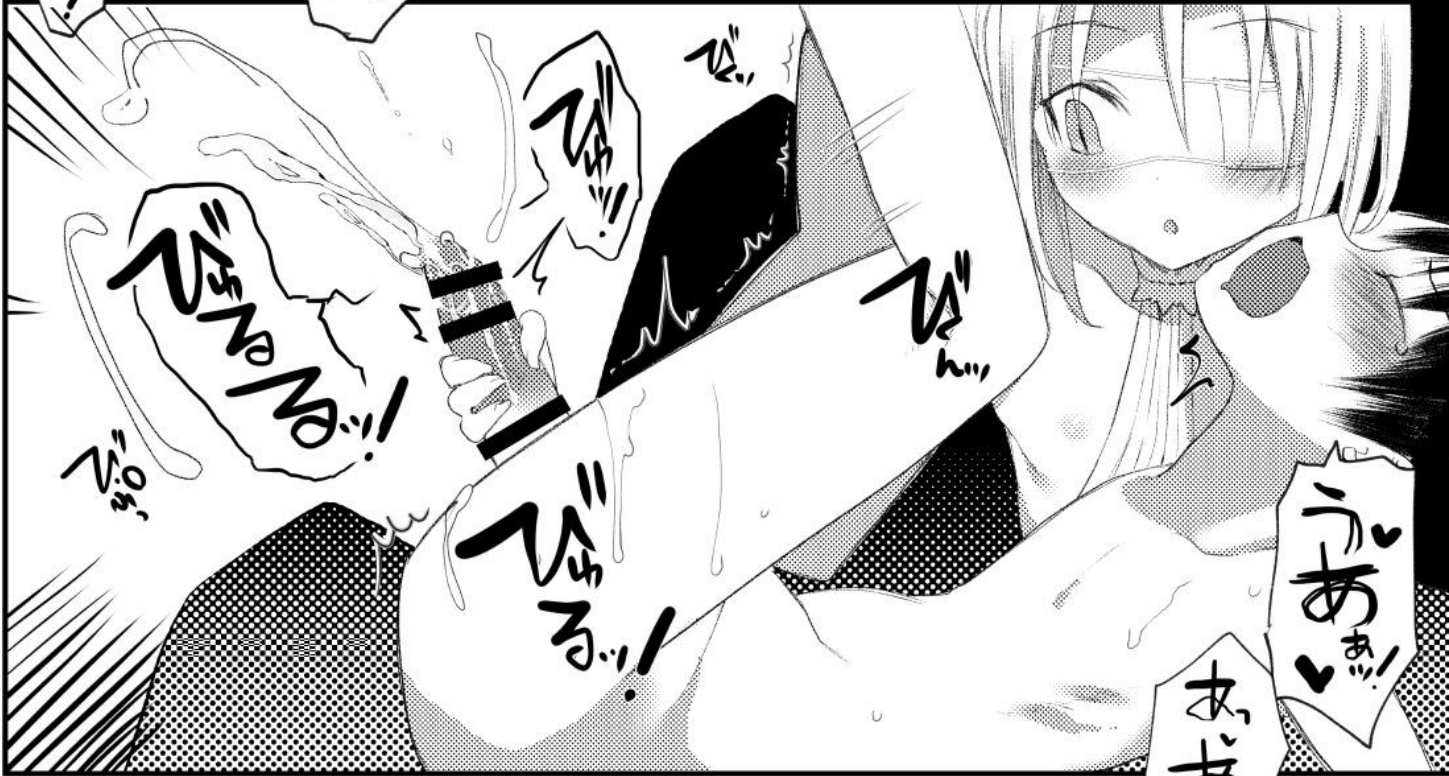


はっ♡

はっ、  
はっ



♡血管浮いて  
きたあ…♡

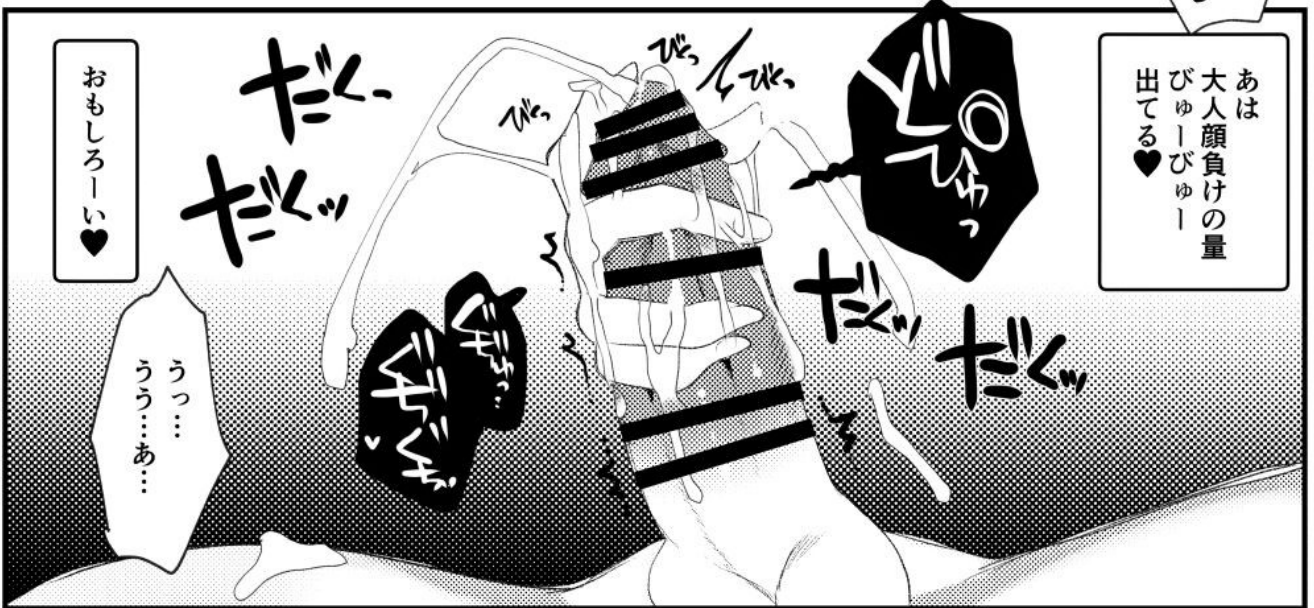


はっはっはっ  
はっはっはっ

はっはっはっ  
はっはっはっ

あ、あ、  
あ、あ、

あ、あ、  
あ、あ、



おもしろい♡

うっ…  
うっ…

あは  
大人顔負けの量  
びゅーびゅー  
出てる♡

たっ  
たっ

はっ  
はっ

たっ  
たっ



今度は…  
口でする…? ♡

ええっ  
汚いよっ…!

口のなか  
に…  
ひゅううって… ♡



う…

はま

あま…



とろろ

んあ…もう  
ねばねば  
出てきたあ… ♡



ちゅるん



か  
じゅ  
い ♡

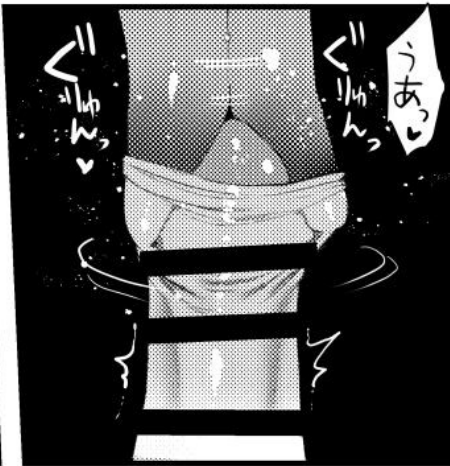
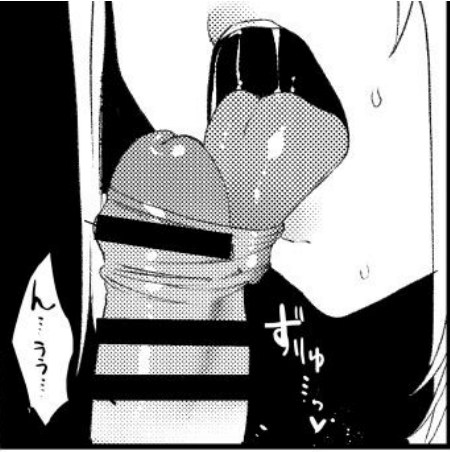
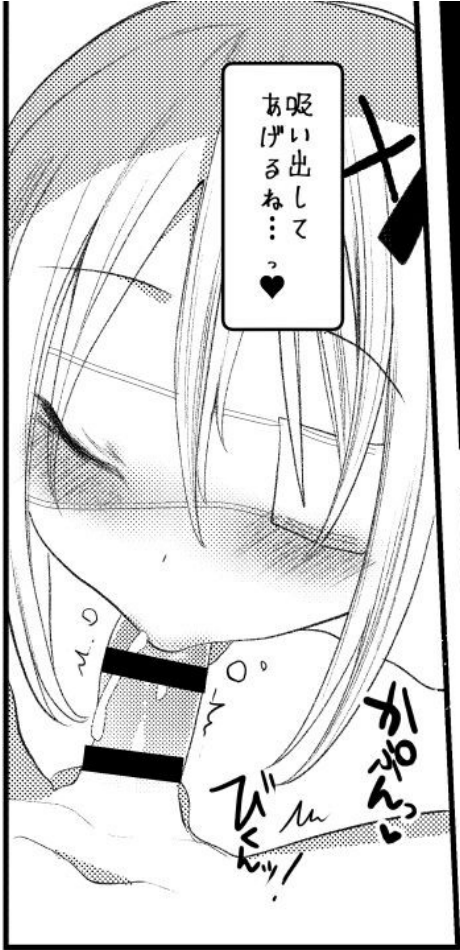


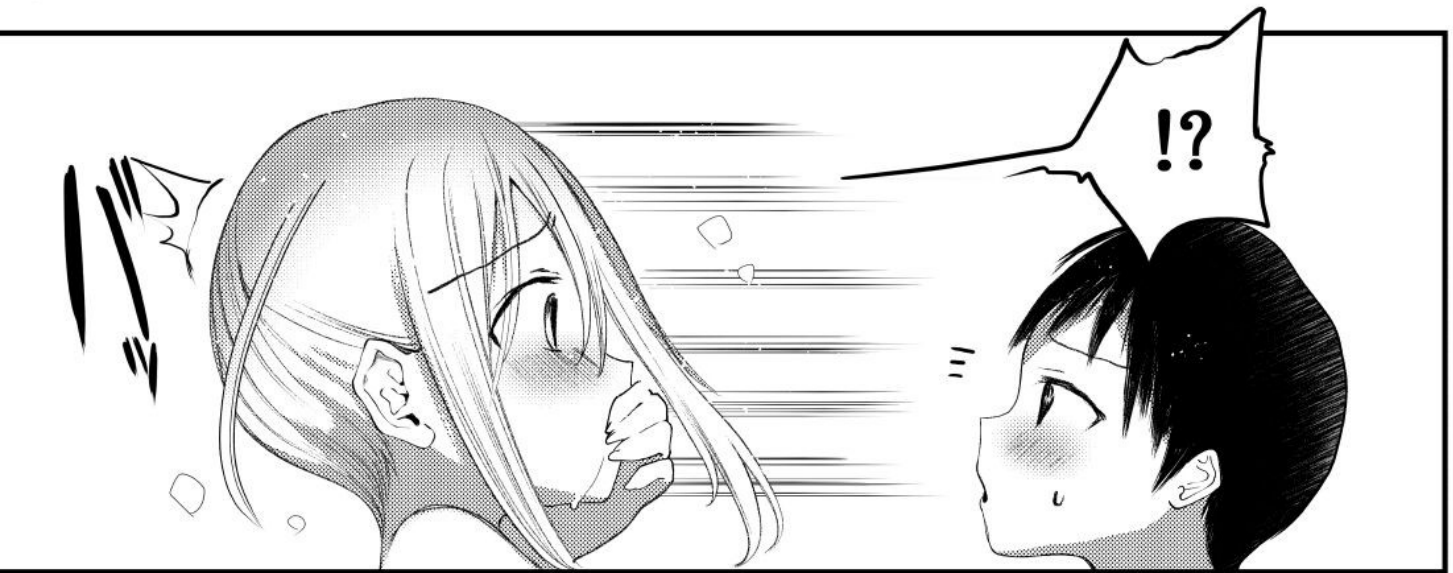
はあ…っ  
またちんこ  
変に…き  
なつて…  
ちやあ… ♡

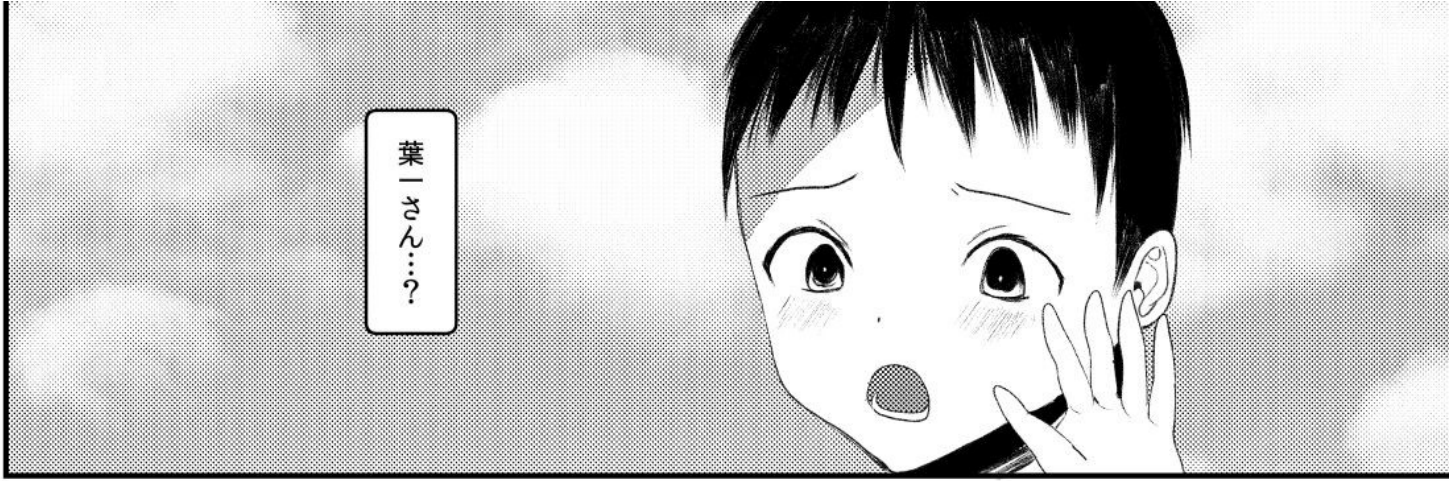
ぺるぺる  
気持いい  
よ… ♡

ちゅるん

ちゅるん







葉一さん…？



あれ以来僕は  
海洋動物に  
関する勉強を始め

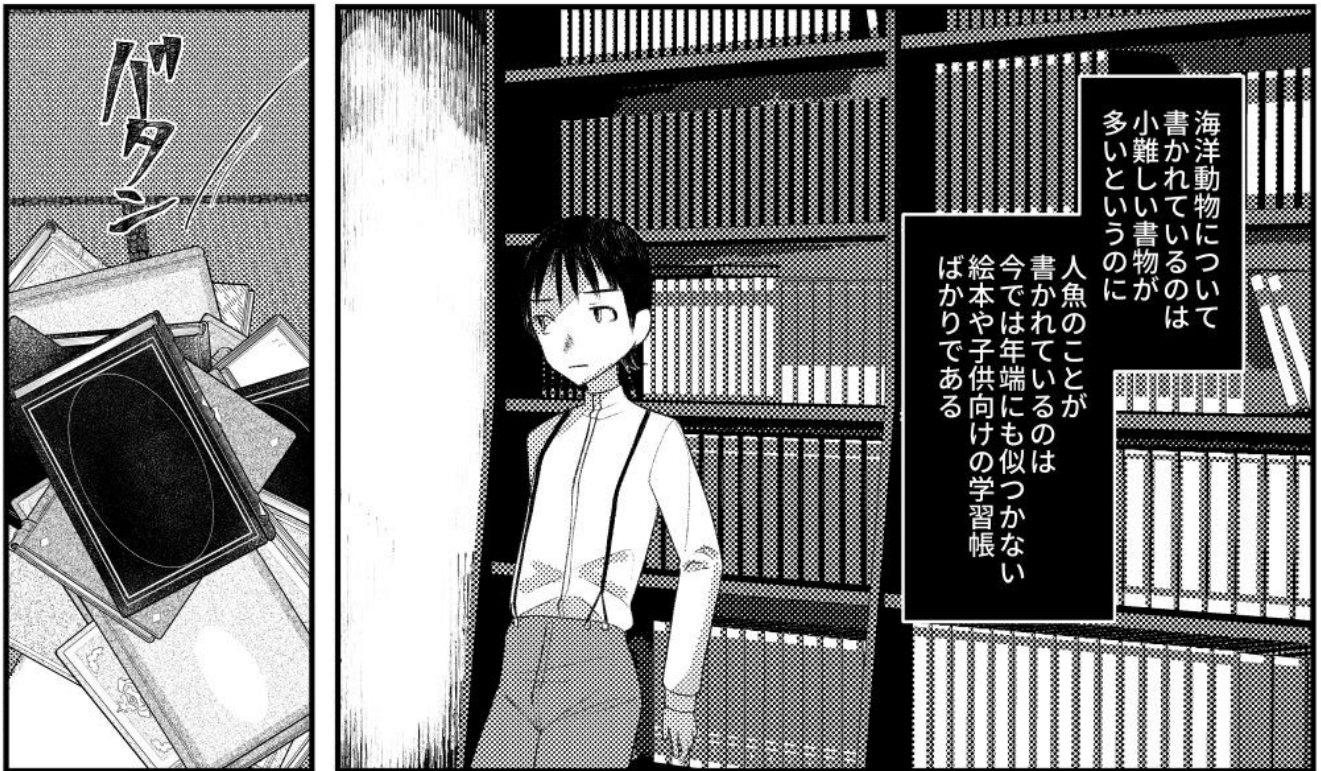
それから十数年  
たっただろうか

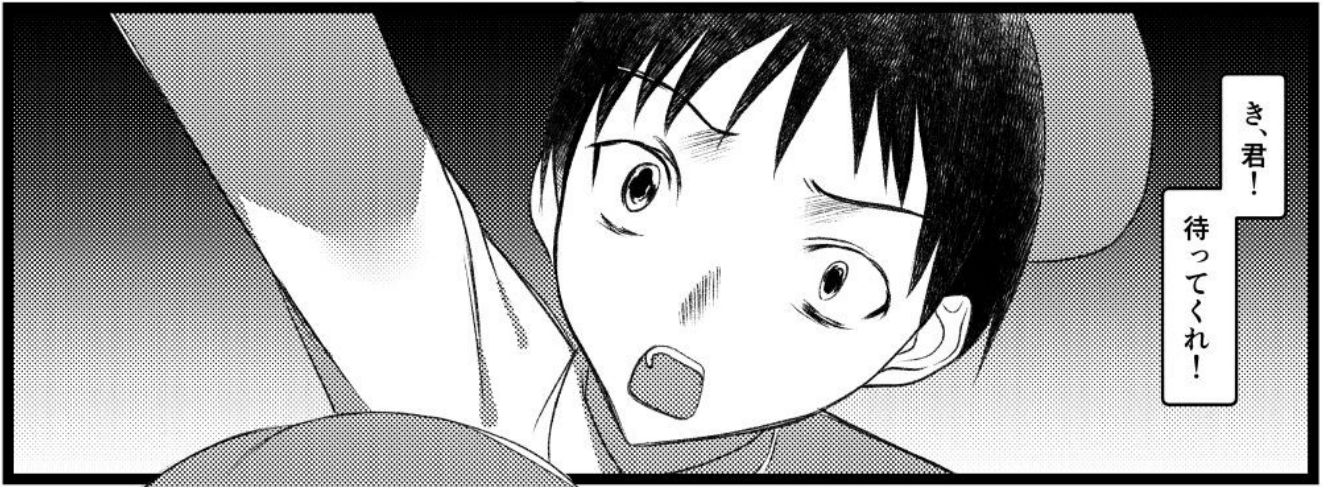
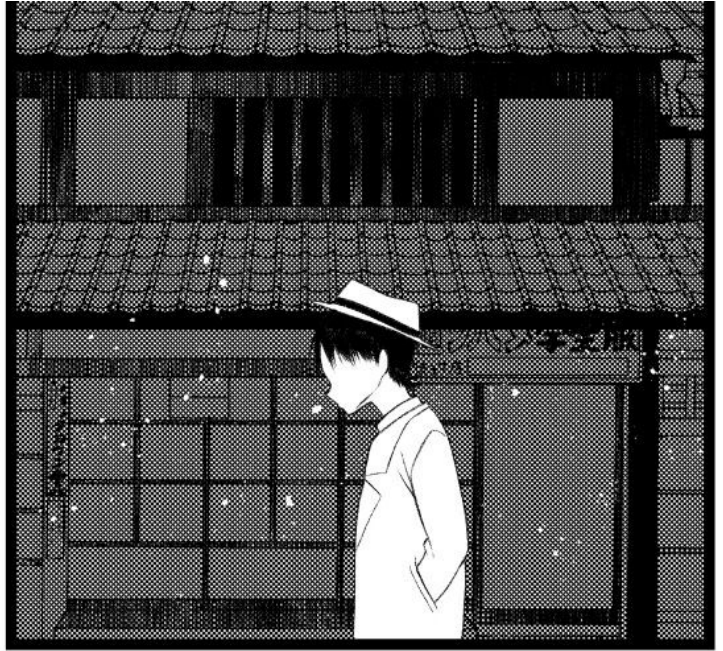
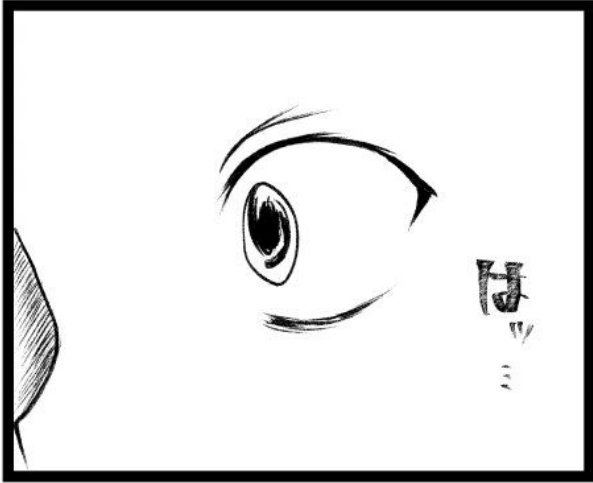


僕の部屋の辺りには  
葉一さんの残した  
人魚に関する書物  
だけが残った



増えた書物の中に  
人魚の影を探した







本当にお久しぶりですね  
ああ…急に引き止めて  
しまつて申し訳  
ありませんでした

いえ…  
とんでもない



葉一さん…  
相変わらず  
お綺麗な方だ…

…ああすみません！  
こんなこと言つて

ふ…  
よく言われます  
死ぬほど綺麗だねって

ああ…っ  
あアハハハ



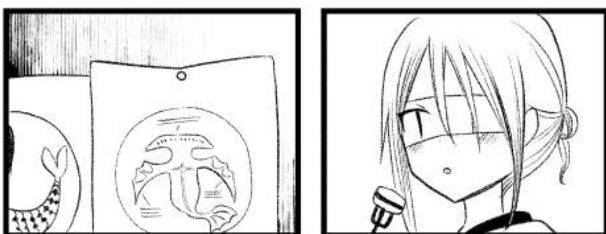
こちらこそ…  
あの時は  
気が動転してて…  
逃げ出しちゃつて…

ああ…いえ  
そんなこと…



あつ  
どうぞ  
召し上がつて  
下さい

ああ…



…まさか  
人魚の研究を…？

ハイ  
どうしても  
諦めきれなくて

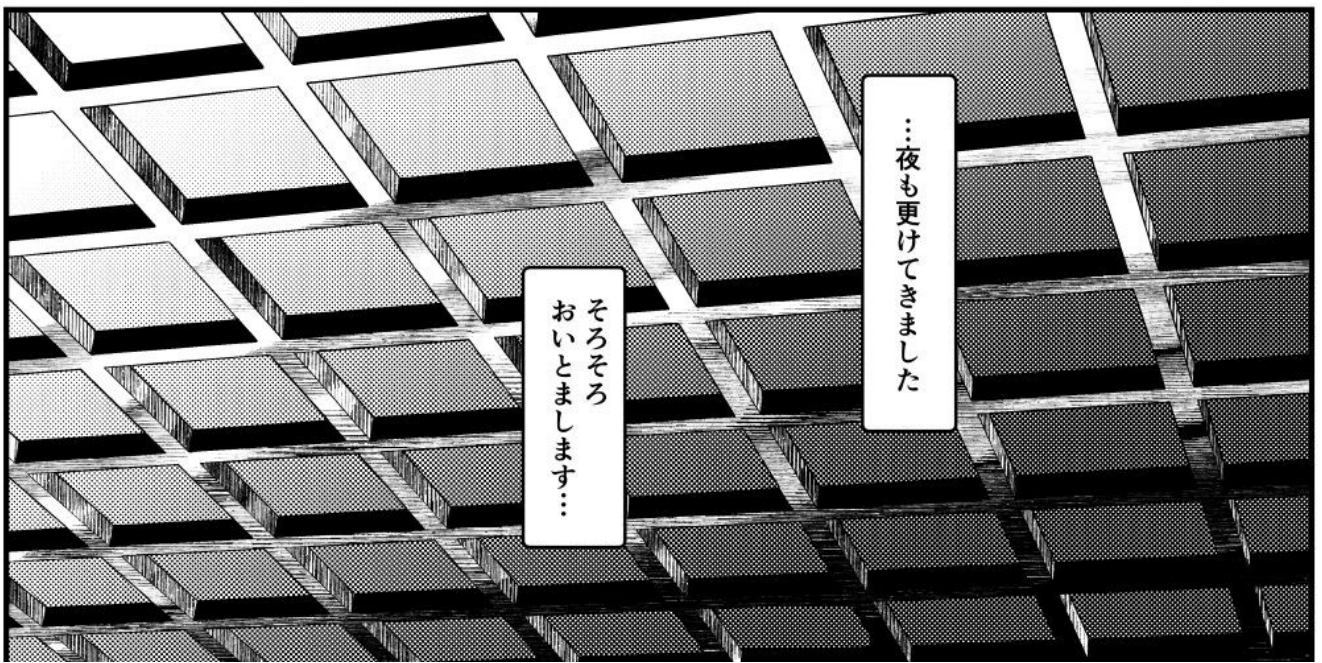


本当は人魚というより  
幼い頃の思い出を  
追いかけてるだけだと  
何度思ったことか…



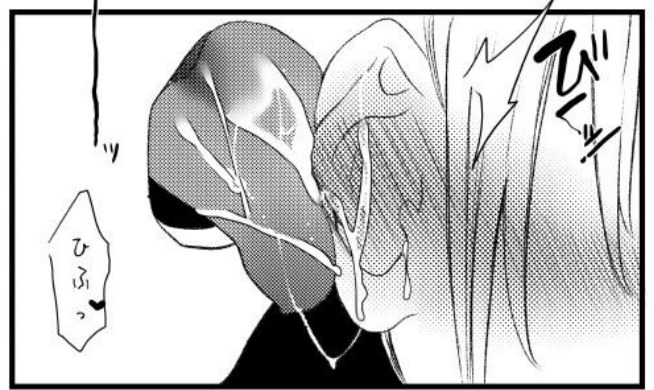
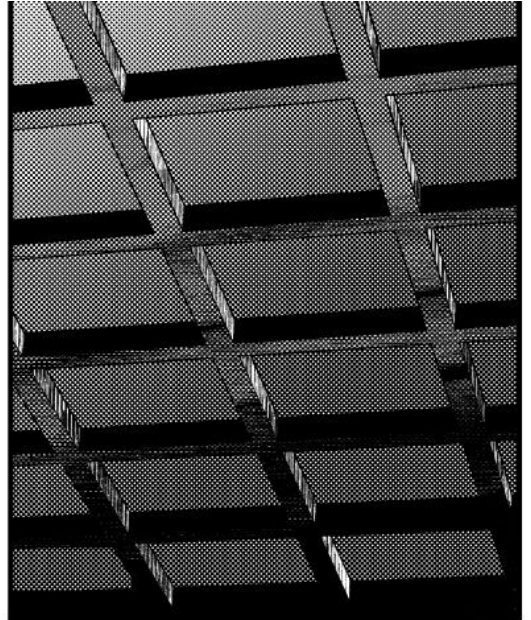
…ですが  
こうしてまた  
姿変わらぬ  
葉一さんとお話  
していると…

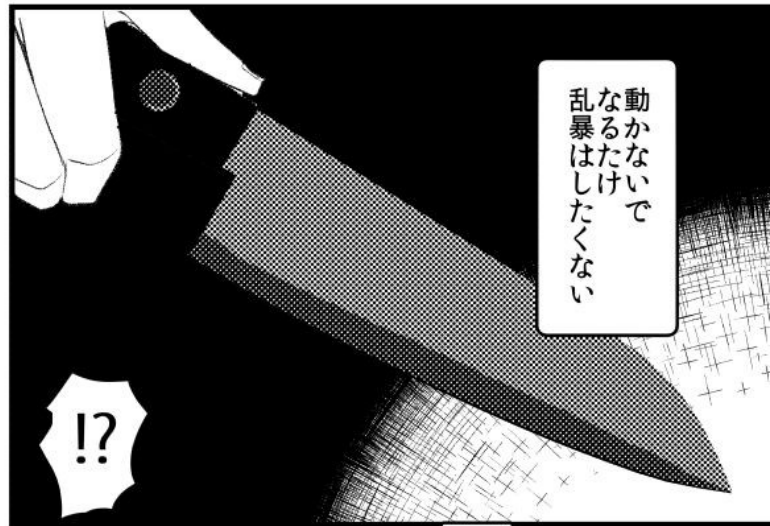
きっと…そうですね  
不老不死の  
人魚はいても  
おかしくないよ



…夜も更けてきました

そろそろ  
おいとまします…

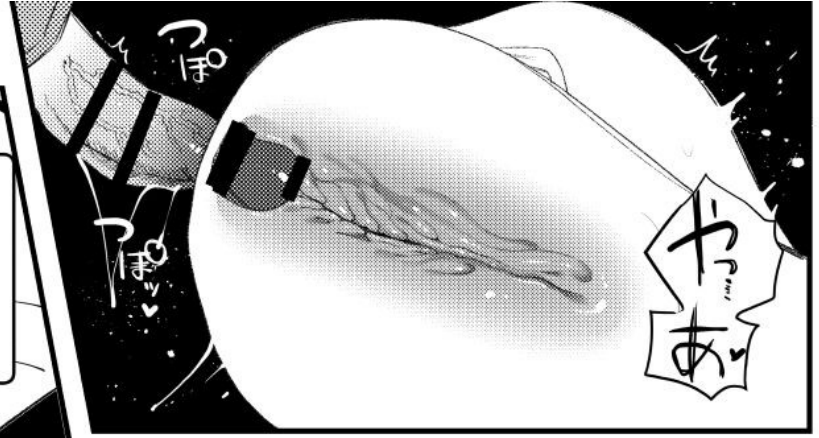






ああ入るよっ…

だめ抜いてえっ



おっあ



くっ



んふっう!



おっおおこれが  
おっおの  
葉一さんの  
なかあっ!!  
♥

うううう  
性格に似て  
ぼわかぼか  
やわっけえ…ツ  
♥





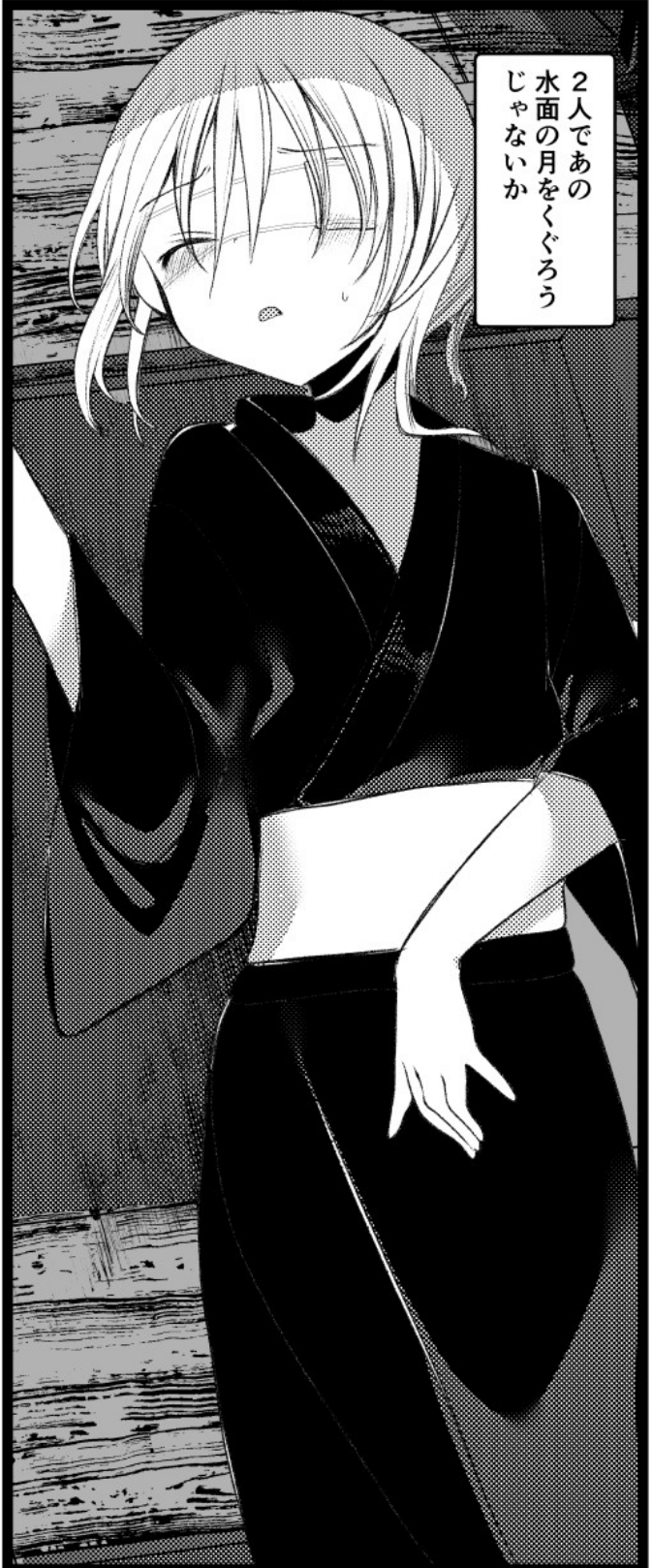




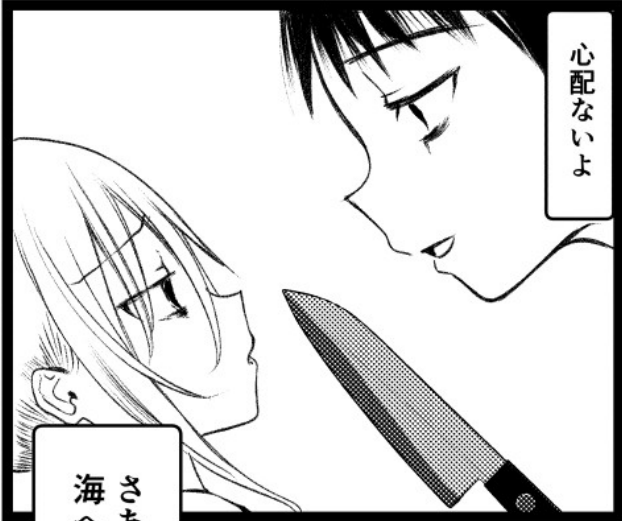
綺麗な月だ…



だめ：  
引き返して…



2人であの  
水面の月をくぐろう  
じゃないか

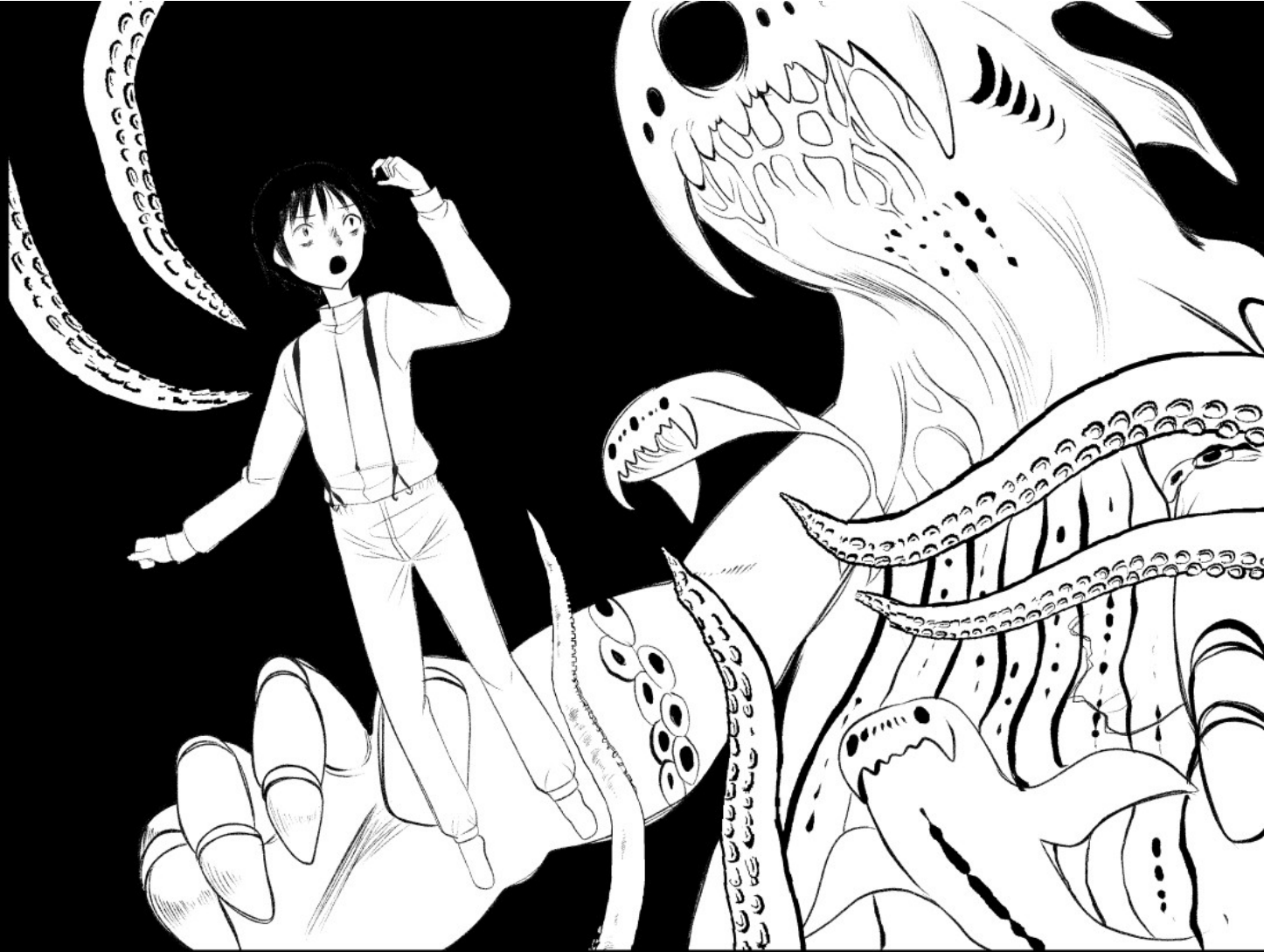


心配ないよ

さあ一緒に  
海へ還ろう…

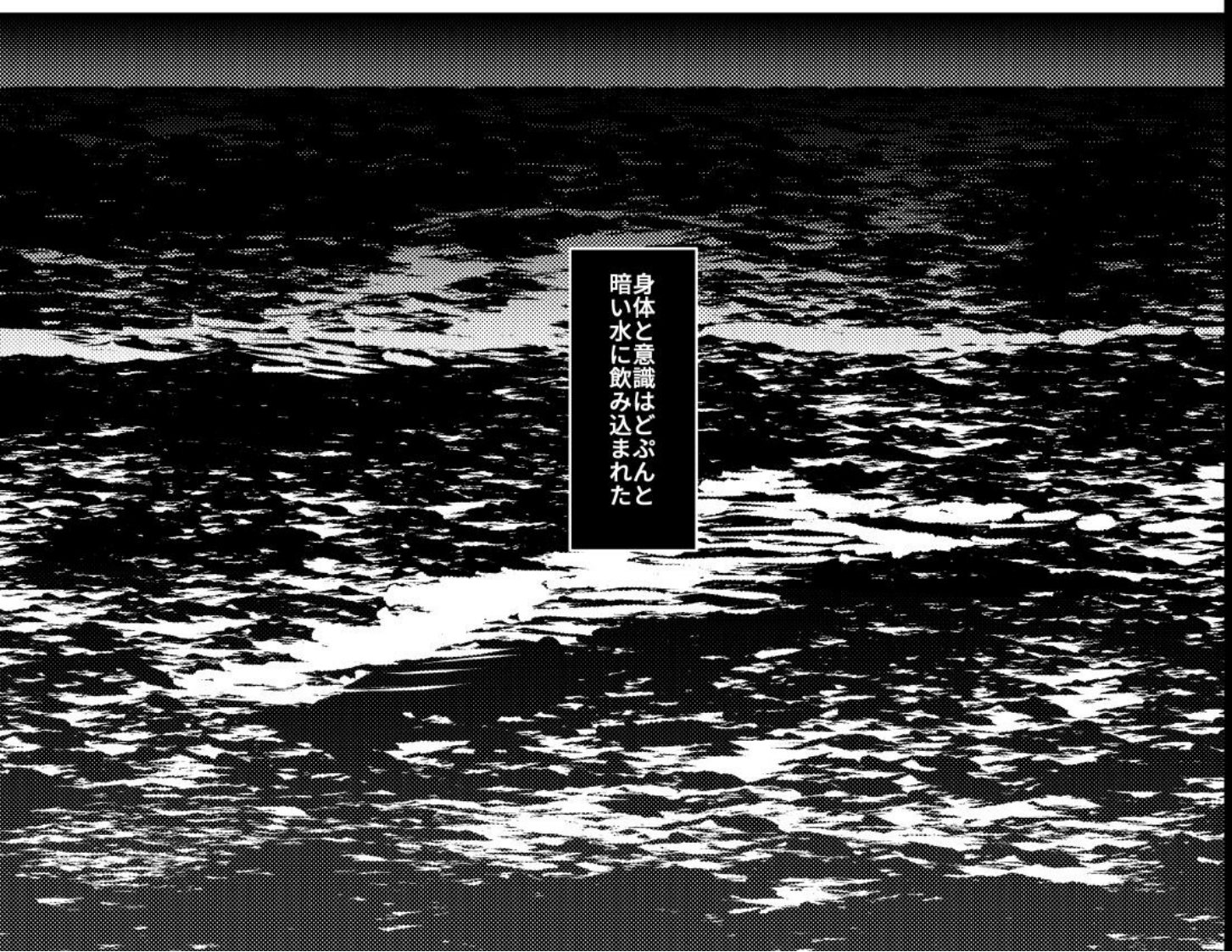


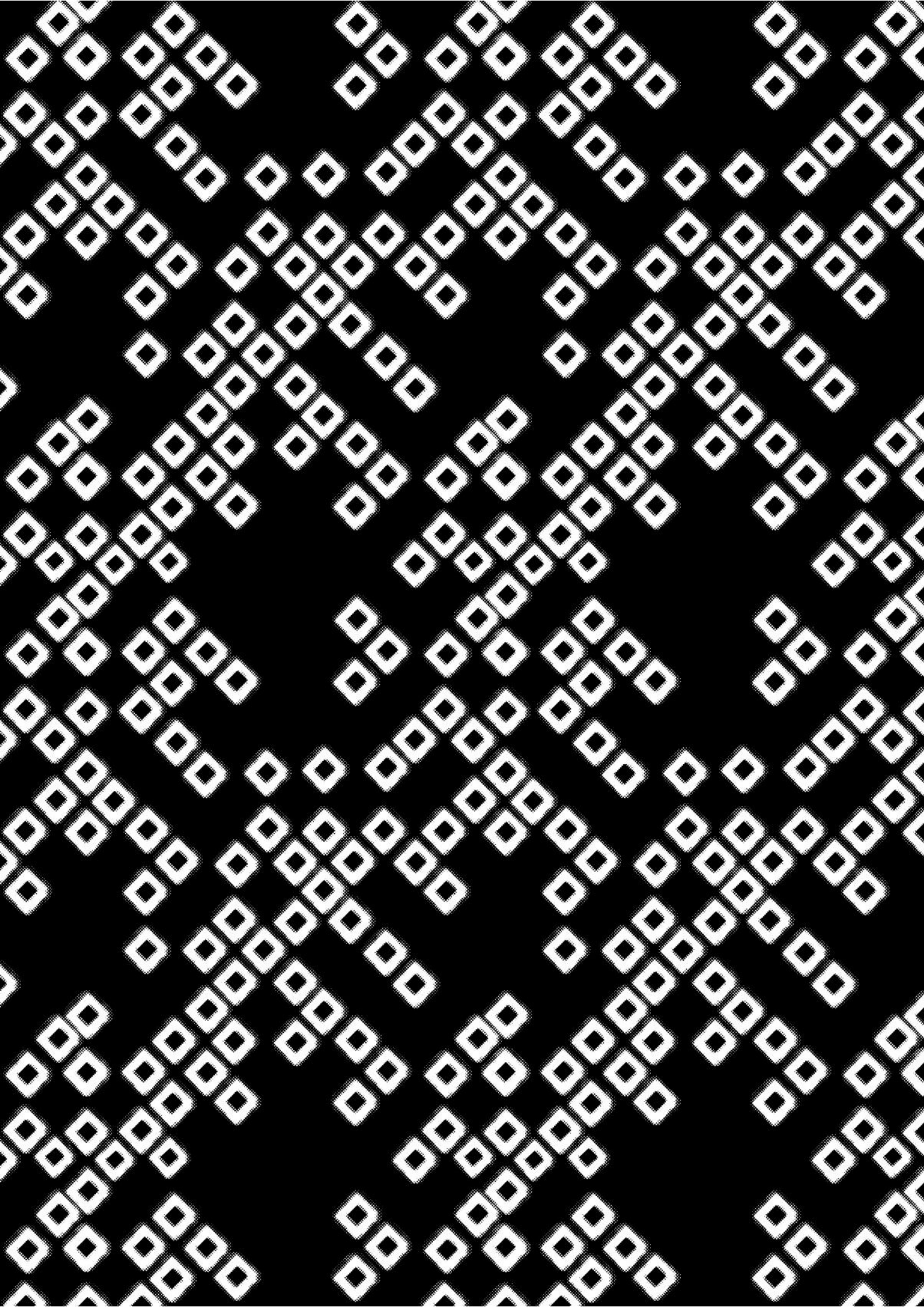




これが…  
人魚？







あとがき

例によって頭がホゲホゲなので  
思いついたことから  
以下箇条書きで失礼します。

- ・冒頭の葉一は15才で後半の29才ぐらいです。  
15才の葉一はまだ鈴村家にお世話になってないです。  
(下宿をはじめたのは16歳ぐらいからです)
- ・柳太郎はやく来てくれー！！って心の中で何回も思いました。
- ・それがギルバートくん。
- ・葉一29才のころは柳太郎、戦争にいていて葉一のそばにいません。
- ・思えば柳太郎がいる話はほとんどがハッピーエンドですね。
  
- ・人魚にまつわる話はバッドエンドが多いと思うのですが、  
今回の怪鼠も意識せずバッドエンドになりました。
- ・あとやっと出てきました、まれびとがみ。  
押花帳にちょこっとだけ解説が載ってるやつらです。  
この世界が何と戦ってるのかというところからです。  
まれびとがみと戦う話はアジルさんやら柳太郎やらの話なので  
怪鼠では深く触れません。「こんなやつらがいるんやなあ」程度の認識で  
大丈夫です。
  
- ・今回は純粋に怪談っぽいところが相合傘っぽいなあ  
クリーチャー出てきてますが。
  
- ・「ヒロインが嫌がると竿役がいなくなる」ってパターン、  
商業でもよくやってる気がします。意識してないんですが…。
  
- ・今見返すと竿役だいぶ不憫な思いしてますね。  
ラストの葉一ですが、見捨ててるわけではなく、  
自分のカじゃもうどうしようもない、ということです。  
人の人生を、不条理な方向だったり、  
また幸運な方向に簡単に捻じ曲げてしまう魅力があるのが  
魔法使いであり葉一なわけです。  
不条理なところが怪奇漫画にかなってるといいな。

次回ですが、怪談ものか柳太郎との過去話かどうしようかなあと考え中です。  
ギャグというか日常回でもこの際ありかなあとも…。  
そういえば陽炎が日常回でしたね。  
愛蔵版で葉一のチュートリアルを一通り終えた感あるので  
結構なんでも描いていい時期だったりします。

まあいつもどおりとにかく出るものが出ると思います。  
今後とも葉一やその周辺の人々をご愛顧いただけると幸いです。  
それではまたお会いしましょう～～～。

2019.07.30 1号

# 怪鼠一見帳 人魚狩り

2019年08月11日初版発行

発行 1号(111当番)

表紙装丁 ソーイチ(otniteg)様

印刷 STARBOOKS様

HP : <https://no1004.wixsite.com/no100>

mail : [no100@hotmail.co.jp](mailto:no100@hotmail.co.jp)

twitter : no100

無断転載、複写、転売などは禁止です。もれなくインボになりますよ。  
表紙や中身を数コマ写真に撮ってネットやSNSにあげるのは大歓迎です。



← ご感想フォーム ( <http://goo.gl/oPoH0p> )